

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮別所小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎基本の習得 国語「読む」算数「数と計算」社会「憲法の意味」理科「エネルギー」に正答率が低い傾向が見られた。 <指導上の課題> 児童の学習習慣や生活経験に差がある。基本的な語句や計算の意味等を理解を繰り返し行っていく必要がある。	⇒ 前時を振り返る問題や掲示物、また多様なワークシートやドリルページ、書き込み式のドリル等を用いた練習問題により、個別の基礎学力の定着を図る。【毎時間】 教科横断的な視点で学習問題や適用問題を提示し、汎用力を育成する。【単元ごと】 「学びのシンキングサイクル」を用いた児童との学習過程づくりやめあて達成のための多様な学びのスタイルの設定により、児童が見通しをもち、主体的に学習を進めることができるようにする。【単元ごと】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 算数「数と計算」2数の関係の数式化、「変化と関係」の速さの公式を扱う問題等、個別の内容に関連付けて思考することに課題がある。 <指導上の課題> 自分の言葉で表現し、資料や情報の見方を高められるような授業実践を行う。	⇒ 根拠資料や根拠となる情報をもとにして、自分の考えをまとめる活動が多く取り入れる。協働的な学びを通して、深い学びにつなげられるようにオウリングプラス等を活用する。【単元ごと】 授業の終わりには、「何を学び、何ができたのか、どう生かしていくのか」等の視点で振り返りをするようにし、学習したことや自分ができるようになったことを言語化し、関連させて考え、豊かに表現する力を高められるようにする。【単元ごと】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)